

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

あぶた読書の家では、読書活動の推進と今後の読書の家の運営の参考にするため、本の貸出し数と閉館時間の延長を行います。1回の貸出し数は、現在1

人3冊までですが、5冊まで可能とします。開館時間についても毎週月曜日のみ午前10時〜午後6時までとし、1時間30分延長します。試行期間は、9月30日までです。

読書は、脳の活性化と共に記憶力や集中力を上げるところから脳の老化を防ぐ効果があると言われています。

一方子どもの本との出会いは、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにします。家庭や地域で、読書を促進する活動を進めていきましょう。

■みずうみ読書の家

（一）般▽後見の月（佐伯泰英）
▽憂いなき街（佐々木譲）▽海うそ（梨木香歩）▽転迷（今野敏）▽

今月の1冊



あたらしい戦争ってなんだろう？

著 山中 恒
山中典子

「イラク戦争ってそういうことだったのか！」テロとの闘いをアメリカは目指したけれどイラク攻撃は世界中の多くの反対を押し切られて進められた。疑問の多いイラク戦争を本質から解き明かす入門的戦争論。誰も止められなかった戦争が始まる前にじっくり考えたい一冊です。



ライアー（大沢在昌）▽満月の月（宮本輝）▽刀伊入寇（葉室麟）▽五郎治殿御始末（浅田次郎）▽虚ろな十字架（東野圭吾）▽生存者ゼロ（安生正）▽ニッポンの大問題（池上彰）▽メールはなぜ届くのか（章野真一）

ピノキオ読み聞かせの会

■日 時 7月28日（月） 午後

2時30分

■場 所 あぶた読書の家



●開館時間

午前10時より午後4時20分まで
（月曜日のみ午前10時より午後6時まで）

●7月休館日

10日・17日・21日・24日・31日・
8月2日・9日

（毎週木曜日・祝祭日休館）

あぶた読書の家 ☎76・2100

みずうみ読書の家 ☎75・4702

わたしのうた

短歌 【あぶた短歌会】

六月定例会

さくら花風にあそびて散りこぼれ

花の薫となりて明らか

待ちがてに待ちたる春のやさしさに

逢ひたる幸せかみしめてをり

孫くれし栄養補給のドリンク剤

飲めば体に沁みわたりゆく

昨夜から奥歯は沁み痛みだし

手入れ怠り虫歯になりぬ

うぐひすの啼く声ひびき心地よく

有珠の山里に久方の雨



俳句 【あぶた俳句会】

六月定例会

水無月の山裾ふかく石切場

藤棚のベンチカップルいつまでも

ほろほろと夕べの鐘に桜散る

六月や錆色深む古道具

六月の風散らしつつ白衣去る

菅原敏子

三瓶修

矢野知子

小笠原勇

那須伶子

大西芳子

山木孝

北島加代

太田智

元田フジ子